

作成2021年02月12日

## 安全データシート (S D S)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: ハートジェルリムーバー フォーオール
会社名	: エビオス株式会社
住所	: 広島市佐伯区皆賀1丁目1-30
担当部門	: 研究開発部
担当者	: 中本友若
電話番号	: 082-924-6871
FAX番号	: 082-924-6872
整理番号	: E L-SUN-210212

## 2. 危険有害性の要約

## 最重要危険有害性及び影響

## GHS分類

## 物理的及び化学的危険性

引火性液体	: 区分外
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入）	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原生	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	: 分類できない
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有毒性	: 分類できない
環境に対する有毒性	
水生環境有害性（急性）	: 区分 2
水生環境有害性（慢性）	: 分類できない

## GHSラベル要素



絵表

注意喚起語 : 危険

## 危険有害性情報

皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
水生生物に毒性

## 注意書き : 【安全対策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで」取り扱わないこと。

原液が直接皮膚と接触しないように必要に応じて保護眼鏡、保護面、保護手袋等の保護具を使用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。気分が悪い時には医者に連絡すること。

ミスト、蒸気、スプレー等の霧状となった原液を吸入しないこと。

**【応急処置】**

- 眼に入った場合** : 水で数分間注意深くよく洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、よく洗浄し洗い流す。
- 皮膚に付着した場合** : 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。
- 汚染された衣類は再使用する場合は洗濯すること。
- 漏出物は回収すること。
- 飲み込むと、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、下痢が起こることがあります。

**【保管】**

- 涼しいところ、換気の良いところで保管すること。

**3. 組成、成分情報****単一製品・混合物の区別**

化学名又は一般名

: 混合物

: 非イオン界面活性剤、グリコールエーテル、リン酸塩、水

成分及び含有量(別紙)

: 非公開

C A S No.

: 各成分は登録掲載の化学物質

官報公示整理番号

: 各成分は登録掲載の化学物質

(化審法、安衛法)

**4. 応急処置****吸入した場合**

: 呼吸が困難な場合には、新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、呼吸しやすい姿勢で休憩させる

呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合**

: 多量の水及び石鹼で洗い流す。水泡、痛み等の症状が出た場合は必要に応じて医師の診断を受ける。

**目に入った場合**

: 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続け、医師の処置を受ける。

**飲み込んだ場合**

: 水または牛乳を飲ませて吐き出させ、水で口の中をよく洗浄し医師の手当てを受ける。

被災者の意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。

**5. 火災時の措置****消火剤**

: 本品自体は燃えないが、周辺火災の時は下記消火剤を使用する。

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、炭酸ガス、砂

**使ってはならない消火剤**

: 情報なし

**特有の危険有害性**

: 燃焼ガスには一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作の際には煙の吸入を避ける。

**特定の消火方法**

: 製品もしくは化学物質が多量に河川や下水に流出しないよう適切な

**処置を行う。****消火を行う者の保護**

: 消火作業は可能な限り風上から行い有毒ガスの吸入を避ける。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項**

: 作業には必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

必要に応じた換気を確保する。

こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

**環境に対する注意事項**

: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

汚染された排水が適切に処理されず環境へ排出されないように注意する。

**回収、中和**

: 吸着剤等で拭き取り、空容器に回収し、そのあと大量の水で洗い流す。

## 二次災害の防止策

: 床を濡れた状態で放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となるために注意する

## 7. 取扱及び保管上の注意

## 取り扱い

技術的対策

## 注意事項

安全取扱注意事項

: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 取り扱い

: 目、皮膚又は衣類につけないこと。

飲み込まないこと。

: 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。

: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

## 保管

適切な保管場所

: 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所で容器を密閉し保管する。

安全な容器包装材料

: 製品仕様の容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

## 許容濃度

: 設定されていない。

## 管理濃度

: 設定されていない。

## 設備対策

: 目洗浄設備及び安全シャワーを設置した法がよい。

## 保護具

: 保護マスク

呼吸用の保護具

: 不浸透性保護手袋

手の保護具

: 保護眼鏡（ゴーグル又は全面型が望ましい）

眼の保護具

: 作業衣、作業帽

皮膚及び身体の保護具

: 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

適切な衛生対策

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的状態

外観

: 淡黄色～黄褐色液体

臭い

: 特有のにおい

pH

: 9～10（弱アルカリ性）

## 物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点

: 100°C

引火点

: データなし

比重

: 約1

溶解性

: 水に易溶

## 10. 安定性及び反応性

## 安定性

: 通常の条件下では安定

## 反応性

: 通常の条件下では反応しない

## 避けるべき条件

: 知見なし

## 混触危険物質

: 知見なし

## 11. 有害性情報

## 急性毒性（経口）

: 区分外（原料より推定）

（経皮）

: 区分外（原料より推定）

## 皮膚腐食性/刺激性

: 皮膚刺激（原料より推定）

## 眼に対する重篤な損傷/刺激性

: 重篤な眼の損傷（原料より推定）

## 呼吸器感作性

: 情報なし

## 皮膚器感作性

: 情報なし

## 生殖細胞変異原性

: 情報なし

## 発がん性

: 情報なし

生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器/全身毒性（単回）	: 情報なし
特定標的臓器/全身毒性（反復）	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

## 12. 環境影響情報

生殖毒性	: 水生生物に毒性（原料より推定）
残留性/分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関連法規・法令を遵守して、適正に処理する。
汚染容器・包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関連法規・法令を遵守して、適正に処理する。

## 14. 輸送上の注意

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器に破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

化審法 特定化学物質	: 該当しない。
消防法	: 該当しない。
安衛法 危険物・通知対象	: 該当しない。
毒劇物取締法	: 該当しない。
化管法（P R T R）	: 該当しない。

## 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅しているわけではありませんので、含有量、物理、化学的性質、危険、有害性に関しては、必ずしも保障される内容ではありません。すべての化学製品には未知の有害性がありうるため、取り扱いには十分注意してください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としていますので、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全策を実施の上ご利用ください。